

## 令和5年度 第12回山上憶良短歌賞受賞作品一覧

### 小学生の部

#### 憶良賞

母の日のハンドクリームへつてない値段はかなり高かったのに

妹と私のけんか母がみて何も言わない逆に怖い

ぼくんちのうさぎの名前はウータンであねが毎日さわつています

ぼくは好きお酒を飲んでるお父さんおもしろいけどすべつてる

わたしのお父さんから弟のはお母さんからもらったつくえ

この天バ父の天バに似ているなやつぱりこれがいでんしなのか

母親に大学生に公務員私の母は一人三役

台所ぼくの手伝う晩ごはん一緒に並ぶ二つの背中

お父さんなんでプールの時にさうきわをもつていくんだろうな

父さんとあぶない磯を渡つたよたくさん釣つて同じ道帰る

あたらしく家族にはいつたあいけんがかわいがられてすこしさびしい

お母さん機嫌が良い日と悪い日の声の大きさをぜんぜんちがう

質間に100倍かえすお父さん知識豊富でちよつと笑える

赤ちゃんのえ顔なき顔小さな手ほつべむにむにいつも大好き

くつのサイズ気づいたときには同じだねおどろく母と喜ぶ私

パパママ似よりも喜ぶジジババ似まじまじと見る七十年後

### 倉吉市立社小学校（鳥取県）

### 中学生の部

#### 憶良賞

会うたびに広がつていく身長差私と祖母の距離は狭まる

父テレビ僕タブレット母スマホこんな家族でいいのだろうか

今日もまた起こしにくるんだあいづらが母の使いの妹たち

母親の怒り察する父娘ひっそり逃げるトイレと風呂場

水になりときに油になりえるぞ親という火にそそぐ言葉は

いつの間に私のおさがり着てる祖母おねがいだから外はやめてね

ふた開けて好物ばかりのお弁当かぜ気味の母父が代わつて

身長を家の柱に刻み込むやつと抜かした父の身長

指先の布折り曲げて遊ぶ冬母の手袋少しあたたかく

いつからか距離が置かれた父の手を夜闇にまぎれ握つてみたり

推し活の話は尽きず長電話少女のようなわたし似の祖母

弟妹のケンカを止めて言われるは「ケンカじゃない」とはもる弟妹

やりすぎたひいばあちゃんをおどかしたあの日の夜にムンクのお面で

ハンドルを握る母の手浮く血管いつ年とつたのたずねる私

買ってきた少女マンガをいちはやく読んでいる父私なのですが

「おかえり」と優しい声で出迎える母の視線はパソコンのまま

### 学習院女子中等科（東京都）

### 高校生の部

#### 憶良賞

父さんの待ち受け画面に七才の私は今でもほほえんでいる

スイーツもカーネーションもないけれど今日は一日ゆつくりしてね

けんか中親父に連れられ飯屋行く初めて話す男の本音

金曜も夜勤シフトの母さんはバスデーケーキラツプして行く

結婚をした兄ちゃんは洗濯のたたみ方迄変化するんだ

初めてすまんと言われたゆうべ小さく見えた父の背中が

傘閉じて車に乗るとかけられる乾いたタオルと「おかえり」の声

小四の廊下に立たされ泣いた日の僕より泣いてた母さんの顔

喉の奥五文字が出ない思春期の母の背見つめる僕が嫌いだ

姉さんの結婚式の翌朝の静けさ秋を加速させてる

妹に背を越されてから親戚が間違え始めるとちらが姉か

朝六時朝食よりもヘアセット母控えめに「好きな子いるの？」

快く応援父母がしてくれた志望理由の清書始める

稲刈りの九月は父の作業着の青汗染みて濃い色になる

母さんの迎えの車待つ駅は無人の改札鈴虫が鳴く

### 鎌形学園東京学館新潟高等学校（新潟県）

### 一般の部

#### 憶良賞

わが膝を卒寿の夫に貸しやりて点耳葉さすこの世の岸边

「ならない」と何度も言つたが母を追いおんなじ色の聴診器持つ

こんなにも奇麗な睫毛だったのね柩にしずかなり末の弟

人前でチャンづけで呼ぶくせやめて母さん俺は五十のオヤジ

食べ終えた魚の皿に茶を注ぎ父は昭和を丸ごと飲んだ

のびやかにみどり児のごと欠伸する母を見てをり皆病室に

「赤ちゃんを授かれなくてごめんな」と夫婦で泣いた夫婦になった

ガザの母吾子の手足に名を識す四散すれども慥かな筆蹟

わが口に触れてその指軽く振りあしたねと出る夫の病室

いくたびも撫でてくれたる母の手の瘦せし窪みに錠剤を乗す

ゆく秋のひかりの中で囲碁をうつ父の胡坐と夫の正座

迷うとき歌二首並べ「どつち好き？」夫を選者にわたしは投稿

「マンガーがうまかつたけえ」とひと言のみ南方の戦を父が呟く

全盲のパラマラソンをめざす母に息子は日々伴走父の遺志継ぐ

凍てる日の父の脱ぎたる手袋は働く厚き手の形して

姉の居間背に服着てるどの椅子も老いの時間はゆつくり流る

（敬称略）

鳥取県	倉吉市立北谷小学校	6年	米原	ひなた
鳥取県	倉吉市立西郷小学校	6年	中田	寧音
鳥取県	倉吉市立社小学校	3年	井上	晴貴
鳥取県	倉吉市立上灘小学校	6年	藤田	孝行
広島県	廿日市市立大野東小学校	4年	袋瀬	ほのみ
鹿児島県	鹿屋市立笠野原小学校	6年	金沢	幸一郎
鹿児島県	鹿屋市立笠野原小学校	5年	濱田	莉子
鹿児島県	鹿屋市立笠野原小学校	6年	嶺山	愛佳
鳥取県	倉吉市立社小学校	5年	長谷川	海斗
鳥取県	倉吉市立北谷小学校	6年	石井	琥太郎
鳥取県	倉吉市立西郷小学校	3年	北中	美月
鳥取県	倉吉市立西郷小学校	6年	金田	太一
鳥取県	倉吉市立西郷小学校	6年	丸橋	璃子
鳥取県	倉吉市立社小学校	3年	岡本	未来
鳥取県	倉吉市立関金小学校	6年	本谷	安弥
茨城県	日立市立日高小学校	6年	加古	瑠莉那

鳥取県	鳥取大学附属中学校	2年	清水	麻希
鳥取県	鳥取大学附属中学校	2年	安田	雄貴
鳥取県	湯梨浜町立湯梨浜中学校	1年	高橋	新大
東京都	学習院女子中等科	1年	堀岡	美帆
東京都	学習院女子中等科	3年	芝	優夏
東京都	学習院女子中等科	1年	栗田	多花良
宮城県	倉吉市立河北中学校	1年	石原	聡一郎
東京都	学習院女子中等科	3年	後藤	嘉杏
東京都	学習院女子中等科	1年	宮越	彩
東京都	学習院女子中等科	2年	松澤	希和
鳥取県	倉吉市立東中学校	3年	河本	遥翔
鳥取県	倉吉市立東中学校	2年	田中	友梨
鳥取県	鳥取大学附属中学校	2年	宮城	華子
鳥取県	湯梨浜町立湯梨浜中学校	2年	岡本	侑理子
東京都	学習院女子中等科	1年	高野	真優

新潟県	鎌形学園東京学館新潟高等学校	3年	平松	穂花
鳥取県	湯梨浜学園高等学校	1年	岩田	侃大
鳥取県	鳥取県立鳥取中央育英高等学校	1年	堀本	泰治
新潟県	鎌形学園東京学館新潟高等学校	3年	石川	琉衣
新潟県	鎌形学園東京学館新潟高等学校	3年	山田	義乃
埼玉県	星野高等学校	1年	正木	僚
鳥取県	松柏学院倉吉北高等学校	2年	原	杏那
埼玉県	星野高等学校	1年	塚田	紗菜
神奈川県	神奈川県立光陵高等学校	1年	上田	朱雀
新潟県	鎌形学園東京学館新潟高等学校	3年	本間	伊織
新潟県	鎌形学園東京学館新潟高等学校	1年	笹川	恵太
鳥取県	松柏学院倉吉北高等学校	2年	中村	蒼
鳥取県	湯梨浜学園高等学校	1年	河野	向日葵
新潟県	鎌形学園東京学館新潟高等学校	3年	今泉	英也
新潟県	鎌形学園東京学館新潟高等学校	3年	佐藤	月音
新潟県	鎌形学園東京学館新潟高等学校	1年	赤塚	鎧哉

愛媛県新居浜市	吉川	節子
鳥取県倉吉市	岸本	栞
茨城県土浦市	貝塚	妙子
大阪府吹田市	住吉	美和子
和歌山県和歌山市	中尾	加代
三重県四日市市	川瀬	和代
岡山県岡山市	岩崎	純史
東京都豊島区	梶浦	公靖
福岡県福岡市	市川	登美榮
茨城県ひたちなか市	小田倉	量平
鳥取県鳥取市	平尾	潤子
鳥取県倉吉市	小谷	貞代
鳥取県鳥取市	坂本	恵子
滋賀県栗東市	澤	絢子
福井県福井市	中嶋	恭子
滋賀県草津市	藤波	舞

## 第12回山上憶良短歌賞 応募作品数

応募数総計( )は前年度比較

	市内	県内	県外	県外	合計
小学生の部	491 ( 6 )	66 ( △ 72 )	110 ( △ 99 )	0 ( 0 )	667 ( △ 165 )
中学生の部	432 ( 28 )	485 ( 392 )	834 ( 141 )	0 ( 0 )	1751 ( 561 )
高校生の部	199 ( △ 66 )	160 ( 11 )	802 ( △ 363 )	0 ( 0 )	1161 ( △ 418 )
一般の部	48 ( △ 20 )	109 ( 48 )	996 ( 92 )	0 ( △ 1 )	1153 ( 119 )
合 計	1170 ( △ 52 )	820 ( 379 )	2742 ( △ 229 )	0 ( △ 1 )	4732 ( 97 )

とっとり県民カレッジ連携講座

山上憶良短歌賞記念講演

# 永田和宏短歌講演会

日時

令和6年

3月2日(土)

午後1時30分～3時

会場

倉吉交流プラザ

2階 視聴覚ホール

定員

80名

永田 和宏さん

JT生命誌研究館館長、京都大学名誉教授、  
京都産業大学名誉教授、短歌結社「塔」前主宰、  
宮中歌会始詠進歌選者、朝日歌壇選者、角川  
短歌賞選考委員

※参加無料

事前申込みが必要です。

第12回山上憶良短歌賞表彰式

日時 令和6年3月2日(土) 午前11時15分～

場所 倉吉交流プラザ 2階 視聴覚ホール

問合せ  
申込先

倉吉市立図書館 (倉吉交流プラザ)

〒682-0816 倉吉市駄経寺町 187-1

電話 0858-47-1183

FAX 0858-47-1180

申込みはこちらから

